

11

2016-2017
NOVEMBER

Vol.5

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信 11月号



ROTARY
SERVING
HUMANITY

The Ideal of service — ロータリーの根幹精神 —

CONTENTS

- 01 **ガバナーメッセージ**
ロータリー財団月間に寄せて ガバナー 松本 進也
- 02 ロータリー財団月間によせて ロータリー財団委員会 委員長 宮里 唯子
- 03 世界インターアクト週間にあたって インターアクト委員会 委員長 小池 貢
- 04 クラブ米山奨学委員長・幹事・米山奨学生カウンセラー研修会
- 05 職業奉仕委員長・地区委員合同勉強会 報告
- 06 社会奉仕委員長会議 報告
- 07 来日学生歓迎会・オリエンテーション、帰国学生報告会を終えて
- 08 グローバル奨学生渡航前オリエンテーション 報告
- 09 熊本災害復興ボランティア 報告
- 11 RAC活動報告 海外研修
- 13 鬼怒川水害 義援金のお礼と報告
- 14 コーディネーターニュース
- 15 地区大会案内
- 16 米山記念館便り
- 17 「ロータリーの友」誌 推奨記事のご紹介
- 18 米山奨学委員会／ロータリー財団
- 20 2016年9月 会員数・出席報告
- 21 文庫通信



ガバナーメッセージ ロータリー財団月間に寄せて

国際ロータリー 第2660地区 ガバナー

松本進也

(大阪北RC)



本年度はロータリー財団創立100周年の記念すべき年
であります。

RIは2016年5月28日からのRI国際大会を最初の祝賀
行事とし、2017年6月10-14日のアトランタRI国際大会
を幕締め、世界各国での祝賀行事(財団活動)を奨励さ
れています。

日本の祝賀行事は、11月27日(日)東京にてロータリー
財団記念シンポジウムを開催します。ジョン・ジャームRI
会長を招き、緒方貞子元国連難民高等弁務官(1951年
国際親善奨学生)や、国際人道支援の第一線で活躍する
ロータリー財団学友のシンポジウムを実施予定です。当
日の模様は新聞社の取材が入り、後日全面広告として掲
載されます。RI及び、RI公共イメージの推進に大いに役立
つことでしょう。

当地区では財団委員会、社会奉仕委員会が協議し、任
意の全クラブ参加型の社会奉仕プロジェクトが提案予定
です。詳細決定次第、ご連絡します。また、12月9、10日
の地区大会においても財団100周年の祝賀と位置づけ、
記念イベントの色彩を帯びたものいたしました。まず分
科会では国連児童基金(ユニセフ)NY本部事業局 保健
部ポリオ根絶チーム上席アドバイザーの山口郁子氏にご
講演頂きます。また、友愛の広場にてポリオ撲滅に関して
バーチャルリアリティーによる体験や、パネル展示を行
います。是非、ご来場をお待ちしております。

今回はRI会長が3つの強調事項に含められた「ポリオ撲
滅」の歴史をご紹介します。

昨年2015年はRIがポリオプラス・プログラムを開始し
て丁度30年でありました。30年前、RIがロータリー創立
80周年を機にWHO、ユニセフと共同で当プログラムを
開始しました。以後、ロータリーは累計13億ドルをポリオ
撲滅に寄附し、世界20億人の子供たちをポリオの脅威か
ら守ったのです。更にロータリーによるアボガドシー(政
策提言)運動は各国政府から100億ドルにも及ぶ寄附をも
たらしました。

ポリオプラス計画の発端となったのが1979年のフィリ

ピンでのポリオワクチン予防接種活動の成功です。当時、
全世界のポリオ患者は約50万人。その45%がフィリピン
に集中していました。

ジェームスL.ボーマーJr.RI会長もこの予防接種活動に
参加しました。その時のとあるエピソードはロータリーの
友10月号P3のジョン・F・ジャームRI会長メッセージをご
覧ください。ボーマーRI会長は”Let Service Light the
Way”-奉仕の灯で道を照らそう-をRI会長テーマとさ
れ、我々ロータリアンを聖火ランナーとし、人間世界の闇
に光を当てようと訴えられました。折しもあと4年後には
東京オリンピックが開催され、日本のロータリー創立100
周年の記念すべき年にあたります。我々一人ひとりが聖
火ランナーとして、不遇な環境下で暮らす人々の生涯を照
らす一隅の光となるべき活動を続けて参りましょう。

ポリオ撲滅に関しては、日本人の2人のロータリアンが
素晴らしい活動を行ったことでも有名です。東京麹町RC
の故・山田 彝(つね)会員、故・峰 英二会員の精力的な活
動と報告が、ポリオ撲滅運動提唱の原動力となり、RIのポ
リオ・プラス撲滅運動に発展したのです。日本が誇るロ
ータリアン2名についてはまた機会を改めてご紹介いたし
ます。

今年度の年間目標として、ポリオ撲滅に1名あたり60ド
ルをお願いしています。現在、ビル&メリンダ・ゲイツ財団
から、ロータリーがGPEI(ポリオ撲滅推進活動)のために
集めた資金(年間3,500万ドルを上限)に対し、2倍額上
乗せされます。2018年までの限定となり、この期限はあ
と僅かです。60ドルのご協力が3倍となり、寄附されます。

これまで、全世界122ヶ国の子供たちに予防接種を行
いました。現在99.9%の撲滅までこぎつけましたが残念
ながら本年8月11日、ナイ
ジェリアで3名のポリオの
発生が認められました。し
かし、撲滅まであと一歩で
す。何卒ご理解・ご協力
をお願いいたします。





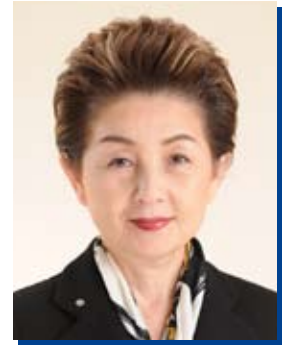
ロータリー財団月間によせて ロータリー財団100周年を祝おう『ポリオ撲滅』



ロータリー財団委員会 委員長

宮里 唯子

(茨木西RC)



財団の父
アーチ・クランプ

アフリカのナイジェリアは2014年7月を最後に野生株によるポリオの発症を抑えたかに見え、あと少しでアフリカが「ポリオフリー」を宣言すると世界のロータリアンは期待していました。

ところが今年8月、3件の症例が報告され、世界保健機関 (WHO) がこれらの症例を確認したことを受け、ナイジェリアは再びポリオ常在国リストに追加されました。アフガニスタンとパキスタンに加えて再びポリオ常在国となってしまったのです。



非常に残念なニュースですが、今回のポリオ発生に迅速に対応するため、ロータリーは50万ドルの追加支援を行ったほか、パートナー団体 (GPEI=世界保健機構、ユニセフ、米国疾病対策センター、その他ビル&メリンダゲイツ財団や各国政府) と調整を図りながら周辺5カ国でポリオの感染拡大を防ぐために大規模な予防接種キャンペーンを実施するなど緊急対策を講じています。

ナイジェリアで再び発症例が認められたとはいえ、わずか4年前の2012年、世界のポリオ全症例の半数以上が、ナイジェリアから報告されていたことを考えると、ポリオ撲滅の難しさはさておき、同国は撲滅に向けて

大きく進展してきたことを我々は忘れてはなりません。

ロータリーのポリオ撲滅は国際ロータリーの「特別プログラム」です。2017年ロータリー財団100周年を迎えるにあたり、全てのロータリアンの財団のポリオ・プラス基金への寄付がナイジェリアでポリオ撲滅に懸命に取り組んでいるロータリー会員を支援していくことができるということをもう一度思い出して下さい。

財団の父アーチ・クランプが「世界でよいことをしよう」と基金設立を提唱してから100年。世界からポリオを撲滅するまで「あとすこし」です。地区財団委員会では2016年度の地区大会初日の分科会「財団100周年を祝おう・ポリオ撲滅」を開催、ユニセフ ニューヨーク本部からスピーカーを招き「ポリオ撲滅最前線」の講演を企画致しました。



写真はイメージ

また友愛の広場ではバーチャル・リアリティを準備、ロータリアンや御家族皆様にヘッドセットを装着してアフリカやインドにおけるポリオ生ワクチン接種を体験頂きます。

今、世界で比較的若いロータリアンを中心にポリオへの関心が低くなっていることが懸念されますが、ヨーロッパ諸国では、中東からの移民の受け入れも加速するなかでポリオや他の感染症が脅威となってくることが予想されます。日本にとっても、ポリオを含む感染症の脅威は決して無関係ではありません。

2016年12月9日(金) 地区大会初日、財団部門「ポリオ撲滅分科会」へのロータリー会員と家族皆様の御参加をお待ち申し上げます。



元ロータリー財団奨学生
緒方貞子様



世界インターアクト週間にあたって

インターアクト委員会 委員長 **小池 貢**
(大阪帝塚山RC)



皆さん、11月に「世界インターアクト週間」があることをご存知でしょうか？そもそも「インターアクトって何？」と思われる方もたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか？

インターアクトとは12歳から18歳までの青少年のための奉仕クラブです。1ロータリークラブが1校を提唱して共に奉仕プロジェクトを計画・実行しています。世界で最初のインターアクトクラブは、今から54年前の1962年11月5日、インターアクトプログラムにより米国フロリダ州のメルボルン高校にて結成されました。その創立記念日を祝い、11月に「世界インターアクト週間」が制定されることとなりました。今日では世界の150カ国以上・地域に18400ものクラブがあり、青少年の会員数は40万人にも上ります。当地区では8校のインターアクトクラブと8つの提唱RCが活動しています。

インターアクトクラブでは、各校においては、地域への奉仕として清掃活動、募金活動などのボランティアを行っています。顧問の先生方のご指導の下、自分たちで考え、行動し、奉仕活動をすることにより、生徒たちはより良い経験をふまえて充実した学生生活を送っているようです。また、インターアクトの活動にロータリアンが参加したり、またその逆の場合もあります。

地区の活動としては、主に①海外研修、②年次大会③活動報告書④新入生歓迎会などが挙げられます。時には、RAC・ROTEXとも交流し世代を超えた活動もしています。

①海外研修は、今年度はフィリピンのセブに8月2日より3泊4日で行ってまいりました。現地の同世代のインターアクターと歌やダンスをした後に折り紙交流をしました。インターアクターが各校で集めた不要な文房具を、現地の小学校に赴いて直接子どもたちに手渡すことによって、子どもたちから最高に輝く笑顔をもらい、ボランティアの成果を直接肌で感じる事が

出来たと思います。またフィリピンの貧しさを目の当たりにし、いかに自分たちが恵まれているかを実感したのではないのでしょうか。また今年度は香港のインターアクターたちを当地区で受け入れ、熊本震災募金活動を含めた国際交流をいたしました。

②年次大会(平成28年11月13日 於大阪桐蔭)④新入生歓迎会(来年6月予定)はインターアクターたちが一同に集まり、他校のインターアクターたちと交流をすることで、協力することやリーダーシップを養成することなどを学べる機会を作っています。

③活動報告書は機関紙『SCRUM』を通し活動の記録を作成発行しています。

インターアクト(青少年)の活動は、生徒たちの成長や笑顔に触れることによって、ロータリアンも喜びを感じることもできる素晴らしいものだと考えております。これからもインターアクトクラブの輪が広がり、益々発展できるよう、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



クラブ米山奨学委員長・幹事・ 米山奨学生カウンセラー研修会

米山奨学委員会 委員 **生駒 伸夫**
(大阪RC)

日時 2016年9月3日(土) 14:00~16:00

会場 大阪科学技術センター 8階中ホール/4階会議室

出席者 松本進也ガバナー、若林紀男パストガバナー、高島凱夫パストガバナー、片山 勉カバナーエレクト、山本博史ガバナーノミニ、ガバナー補佐・補佐エレクト、研修委員、各クラブ米山奨学委員長、カウンセラー、幹事、地区米山奨学委員会

本年度は、委員長・カウンセラーに幹事を加えた研修として開催され、地区役員のほか各クラブから計170名あまりが参加しました。はじめに松本ガバナーから当地区における米山奨学事業の実績、ソウルで国際大会初の分科会を持ったこと、米山学友がロータリー学友の一員となったこと等が紹介され、会員一人あたり3万円の寄付目標が示されました。そして「何事も人々にしてほしいと望むことは、人々にもその通りにせよ」と梅吉翁の言葉で挨拶は締めくくられました。続いて米山記念奨学会副理事長・若林パストガバナーのご挨拶では、「米山学友会は国内に30カ所以上、海外は7ヶ国に広がっている」と米山奨学事業が世界に広がっているとの紹介がありました。その後、当委員会・田中副委員長から本研修会の趣旨説明があり、クラブ米山委員長・幹事部門とカウンセラー部門に別れて分科会に移りました。

委員長・幹事部門の分科会では、古城委員長から「米山奨学事業の現状と課題 -ロータリアンへの期待-」と題して基調講演が行われ「日本のロータリー運動と米山奨学事業」「元奨学生達のその後の活躍」「事業の原動力としての寄付」「寄付と地区への奨学生配置数」「奨学生の選考基準とクラブ配置手順」「松本ガバナーの活動・運営方針」などが明確に語られました。奨学生の配置については、従来の「寄付総額」「個人平均寄付額」に加え「特別寄付者割合」が基準となることを各クラブにご理解戴きたい旨が伝えられました。

カウンセラー部門では5グループに別れてバズセッションが行われました。テーマは「クラブからの要望」「奨学生

にしてあげたいこと」「指導教官との連絡・交流について」。各テーマとも活発な議論が行われ、各グループからそれぞれ報告されました。

分科会の後、再び8階中ホールに集まり、片山カバナーエレクトから「米山奨学事業は全国化して60年の歴史を持つ。私がガバナーになる年度には現在より40名多い780名を迎える予定。さらなる活性化をお願いする」と。また高島パストガバナーからは「カウンセラーだけのディスカッションは初めての試み、議論は大変活発だった。今年度は6ヶ月を経過したが残る半年も何卒宜しく願います」との講評があった。最後に古城委員長から「米山奨学事業がRIから認知され、世界に広がることを誇りに思い有り難く思う。受入れを希望するクラブには極力配置したいが、そのためにまず何より寄付を積み上げて戴くことが必要。この事業が奨学生の人生にとって価値あるのももちろん、ロータリアンにも深く印象に残る事業としていきたい」との閉会の辞によって研修会が締められました。



多様な国からの留学生を採用する

- 米山奨学生をリソースとして、ロータリーアン自身が多様な文化・考え方を学び、国際化・異文化理解できる環境作り
- 各RCからの多様な要望に対応できる体制作り
- 奨学生が将来も、より国際的環境の中で活躍できるように支援できる基盤作り



職業奉仕委員長・地区委員合同勉強会 報告

職業奉仕委員会 委員長

只井恒満

(大阪西RC)

第1回合同勉強会

日時 平成28年8月20日(土) 14:00~16:00

会場 大阪科学技術センター 401号室

参加者：松本G、高島PDG、水島AG、田中AG、浜田代表幹事、地区幹事 1名、地区研修委員3名、クラブ職業奉仕委員長30名、地区職業奉仕委員10名 合計51名

第2回合同勉強会

日時 平成28年9月17日(土) 10:00 ~ 12:00

会場 大阪科学技術センター 401号室

参加者 松本G、大谷PDG、岡部PDG、熊澤AG、林AG、浜田代表幹事、地区研修委員2名、クラブ職業奉仕委員長29名、地区職業奉仕委員OB14名 合計51名

当委員会の本年度最初の事業として地区内全てのクラブ職業奉仕委員長を対象にした勉強会を2日間に分けて実施いたしました。

「ロータリーの職業奉仕」と題したPPのプレゼンではサービスの留意点やロータリーの2大標語、職業奉仕の重要性を説いた「ロータリーの樹」、社会奉仕との違い、規定

審議会での変更点、職業奉仕の要点などの説明を行いました。その後、グループ毎(8名前後)にテーマを決めてバズセッションを行って頂き、それぞれのグループの代表者より発表して頂きました。バズセッションの発表では、たくさんの方々から多くの意見や考え方が披露されましたが、職業奉仕について真剣に会員同士が考え、議論するという時間を持つことが大切であることをあらためて実感いたしました。

この勉強会の目的は、クラブ委員長の皆さんに職業奉仕の重要性を確認して頂き、自己の研鑽とクラブや地域社会における職業奉仕活動をより活動的にして頂くためのものです。本年度のガバナー基本方針である'The Ideal of Service'の基本理念の周知と実践のためには、職業奉仕は欠かせない要素であり、これを再度認識して頂く機会になったと考えております。

勉強会の開催にあたり、松本ガバナーをはじめ、大谷PDG、岡部PDG、高島PDG他、ガバナー補佐の皆様、浜田地区代表幹事、地区研修委員、関係者の皆様には大変ご多忙中、ご出席ご指導頂きましたことは非常に有難く、深謝申し上げますとともに厚く御礼申し上げます。





第1回 社会奉仕委員長会議 報告

社会奉仕委員会 委員長

小林 知義

(大阪ユニバーサルシティRC)

2016-17年度 第2660地区 社会奉仕活動基本方針

2016年9月17日、第1回社会奉仕委員長会議が開催されました。ご存じの通り、今年度、ジョン・F・ジャーム会長が提唱されたRIのテーマは「Rotary Serving Humanity (人類に奉仕するロータリー)」です。これを受けて、松本ガバナーは2660地区の方針を「The Ideal of service (ロータリーの根幹精神)」と定められました。人は社会からその恩恵を受け取ると同時に、還元してゆく責務がある。この自覚の上に立って、社会に向けて具体的な行動を行う事、これをサービスと言う。この基本理念をしっかり認識して、社会奉仕活動を実践していこうと、呼びかけられています。

我々ロータリアンは、今年度、この理念にそって、各クラブでそれぞれオリジナルな社会奉仕活動を実践していく事となります。そして、地区の社会奉仕委員会としては、各クラブの社会奉仕活動がより有意義なものになるように、しっかりサポートしていきたいと思っています。

ロータリー財団の補助金制度について

まずはじめは、ロータリー財団、資金管理小委員会 塩野秀作委員長に「ロータリー財団の補助金制度について」という題でセミナーをして頂きました。地区補助金については、毎年コンスタントに申請して頂けるクラブもあるのですが、一度も申請をしていないクラブもあります。同じように財団に寄付をしながらこんなデコボコがあるというのも、補助金への認知度が低いのが原因なのではなかろうかと、宮里財団委員長からご指摘を受けました。それではという事で、早速お願いしてセミナーをして頂くことになりました。今回のセミナーを機会に、新しいクラブからの地区補助金の申請があればと期待しています。

大阪府における薬物乱用防止の現状について

2番目は、大阪府健康医療部薬務課 麻薬毒劇物グループの栗原陽子主査にご講演を頂きました。飛鳥に始まり清原、高知東生など芸能人による覚醒剤の使用が新聞紙上を賑わしていますが、大阪におきましても思った以上に若者や子供たちに危険ドラッグの恐怖が近づいてきています。そのあたりの事情を詳しくお聞かせ頂きました。

献血の現状について

3番目は、大阪府赤十字血液センター 献血推進一部 安原武志副部長にご講演を頂きました。各クラブの皆様には月信などでご存知だと思いますが、2660地区ロータ

ーアクトを中心に、我々地区の社会奉仕委員会を含め、ロータリーファミリーが一丸となって、年2回、献血の呼びかけ活動をしています。第1回目は7月23日に開催されました。第二回目は2月26日に開催する予定になっています。地区社会奉仕委員会 望田副委員長の報告でもわかるように、若者が若者に呼びかけるというスタイルの活動は、思った以上の効果があります。是非、各クラブでもご協力頂ければ幸いに存じます。

最後になりましたが、当日、開会のご挨拶を頂きました松本ガバナーを始め、講評と閉会のご挨拶を頂きました山本ガバナーノミニー、宮里ロータリー財団委員長には、多大なるご協力を頂戴しました。また、ご多忙中にも関わらず参集くださいましたガバナー補佐の皆様、研修委員の皆様、各クラブの社会奉仕委員長に、心から御礼を申し上げますとともに、このセミナーが各クラブの社会奉仕活動に有益な成果をもたらしますことを祈念し、報告とさせていただきます。





来日学生歓迎会・オリエンテーション、 帰国学生報告会を終えて

青少年交換委員会 副委員長

片 瀧 正 一

(大阪天王寺RC)

8月25日から27日の3日間にわたり青少年交換プログラムの来日学生のオリエンテーション、ホストファミリー対面式、歓迎会、そして帰国学生の報告会を開催しました。

昨年度より地区として最低限のルール等を伝え、その後ホストクラブ・ファミリーと食事をともにした後に来日学生の引き渡しを行う中で、同会場にて帰国学生の帰国報告会を併せ行い、より多くの方にこのプログラムを知っていただくようにしました。

来日学生として最低限の知識としての日本のルール・作法、親善大使としてのルール・心構えを伝えるオリエンテーションの1コマにおいて、本年は箸の使い方を学ぶために阿倍野『大松寿司』に小会席を用意していただき、三好委員が担当し食事の作法、箸の使い方を2時間かけ教えた後に『阿倍野ハルカス・Qsモール』を見学し、各自で地下鉄の切符を購入し、西田辺の銭湯『いりふね温泉』で入浴し長居ユースホステルに戻りました。

会場に缶詰での座講が続き全員疲れが見えていましたが、このときは全員はしゃぎまわっていました。

3日目最終の講座で、西邨委員長から日本での来日学生としてのルールが守れるかの確認が行われオリエンテーションは無事終了し、帰国報告会の開催となりました。

前年度は6名の派遣を行い、全員が素晴らしい成長を遂げ無事帰国しました。

派遣前のオリエンテーションでは3～5分の発表でも青息吐息でしたが、全員持ち時間の15分ではならず

オーバーする者が続出し、最後は時計とにらめっこでしたが無事終了。

青少年交換が提供する未知のものに触れ、見て、聞き、体験する事が、彼・彼女らの人生においてかけがえないものになっていくことを確信するとともに、このプログラムの素晴らしさを再確認することができました。また彼・彼女らの“やばい”の使い方が理解できたようにも思いました。

来日学生はこの後、松本ガバナーより別室にて歓迎の言葉をいただいた後ホストファミリーとの対面式とランチパーティーに参加し、和気あいあいと写真を撮りながらの食事の後、大きな荷物を持ち各ホストファミリー宅へむかいました。

本年は来日学生間での差が生じないように入国日を8月25日に統一指定しました、その結果全員が同日に入国できスムーズに事が進んだ2泊3日のプログラムでした。





グローバル奨学生渡航前オリエンテーション 報告

ロータリー財団委員会 委員長 **宮里唯子**
(茨木西RC)

今年度(※)当地区の5人目のグローバル奨学生となられた大森千尋さんの渡航前オリエンテーションと壮行会の御報告を申し上げます。※15-16年度選考・16-17年度派遣

グローバル奨学生は、6重点分野で活躍する未来のリーダーを育成するための補助金制度で、大学院レベルの学業または研究活動に授与します。人道奉仕活動と同様、派遣国(援助国)と受入国(実施国)のロータリークラブや地区が共同提唱する必要があり、財団による承認を受けて正式に奨学生となった場合には、出発前のオリエンテーションに出席することが義務付けられています。

当地区では、申請書の受付や選考は地区財団委員会が行いますが、申請段階から地区内クラブに世話クラブ(代表提唱クラブ)を御願いし、派遣期間終了後に奨学生が帰国した後も世話クラブとして例会やロータリーの行事に招待し親交を深めたり、クラブの奉仕活動の良きパートナーとなってもらったり、さらにクラブ会員として勧誘頂くことを推奨しています。

大森千尋さんは、神戸大学大学院国際協力研究科に在学中、ボランティアとしてアフリカで母子の健康など人道支援に関わった経験から、大阪市立大学医学部看護学科に進み、派遣直前まで国際協力機構(JICA)アフリカ部で勤務されていました。ロータリー財団の奨学金で約1年間英国のロンドン大学衛生熱帯医学大学院で医療政策計画財政修士課程で学んだ後、将来は国際機関において技術協力専門家として途上国の母子保健を中心とする保健プロジェクトに従事することを目指しています。ロータリーが提唱する6重点分野「母子の健康」で未来のリーダーとなる素晴らしい人材であり、代表提唱は当地区の大阪南ロータリークラブと英国1130地区パディントンRCにお引き受け頂きました。

渡航前オリエンテーションは、松本DGはじめ小倉会長(大阪南RC)、片山DGE、山本DGNにご出席賜り、財団委員により2016年9月15日ガバナー事務所にて実施、グローバル奨学生としての責務、報告要件、渡航中

の留意点等説明後、大森千尋さんには渡航後に現地受入れクラブにて行う予定の自己紹介を含むプレゼンテーションを英語でご披露頂きました。

オリエンテーション終了後には会場を移し、壮行会も実施致しました。オリエンテーションと壮行会を通して地区役員皆様からは、大森さんに対して「第2660地区のロータリアンが応援していることを忘れず頑張ってきて下さい」と暖かい励ましのお声かけもあり、翌日出発を控えた大森さんから感謝を込めたお別れの御挨拶を頂きました。

地区内会員皆様と共に、第2660地区グローバル奨学生の大森千尋さんの英国での御活躍を祈念申し上げ、御報告とさせていただきますと共に、地区内クラブの皆様におかれましては今後もグローバル奨学生候補者の御推薦を御願い申し上げます。





熊本災害復興ボランティア 報告

青少年活動委員会 委員長

瓦谷 勝

(大阪西南RC)

Team RYLA

田中 康太郎

1. 概要

2016年5月にTeam RYLA 八木リーダー(当時)を中心とするメンバーで震災直後の熊本に復興ボランティアに行き、完全復興までは中長期的な応援が必要であると感じました。

そこで今回、2016年8月12日～8月15日にかけて、熊本にて再び災害復興ボランティアを行いました。参加者はロータリアン3名、Team RYLA 4名、ローターアクター6名の計13人でした。今回は作業内容や宿の手配を、大阪西南ロータリークラブを通じて熊本東ロータリークラブに依頼することができました。ボランティア活動として仮設住宅に花を寄贈し、被災者と直接触れ合うことができました。また熊本東ロータリークラブ前幹事の榎様の御好意で熊本城を含む市内被災地査察の同行・案内をしていただきました。

2. ボランティア内容

今回ボランティア受け入れを行っている社会福祉協議会がお盆に休暇を取っていたことや、我々が手伝うことで助成金がもらえなくなるといった話もあり、どうい作業をするかで悩みました。しかし熊本東ロータリークラブの御尽力により、プランターに日日草を植えて仮設住宅に住まわれている被災者の皆様に配るといボランティアを行うことができました。



3. 市内査察

熊本東ロータリークラブより「特に被災の激しい熊本城を含む市内の様子を伝えてほしい」という要請があり、市内の査察を行いました。前回、震災直後のゴールデンウィークに来た時とほとんど変わっておりませんでした。一本足の石垣で知られる上田櫓の本格的な改修が始まっていたことと、震災直後は立ち入りを制限されていた加藤神社に行けるようになっていたことに、復興の軌跡を感じました。



市街地でも特に被害の多かった水前寺地区の査察を行い、いまだに市街地にも震災の爪痕が残っているのを確認しました。水が無くなったと聞いていた水前寺公園は市民の活躍もあり、震災前の姿を取り戻しておりました。今回の査察を通じて、お城(熊本城)お庭(水前寺公園)細川家や清正公といった存在が熊本の人達にとっていかに大きい存在か、そしてそれが震災によって大きな被害を受け、いかに悲しんでいるかということが伝わってきました。



4. 組織間の交流

今回のボランティアを通じて、普段交流の少ない青年関連委員会の間で連携をとれないかと考え、Team RYLAとRACの合同でボランティアを行いました。また、近隣の2640地区、2650地区、2680地区のRACにも参加を打診しましたが、急な要請でしたので参加にまで至り



ませんでした。

熊本においては、熊本東ロータリークラブに組織を挙げて歓待していただき、懇談会にはお盆の最中にもかかわらず13名のロータリアンにご参加頂き、非常に有意義な意見交換をさせて頂きました。熊本のRACにつきましても、当地区の大角代表、白川前代表に協力頂き2770地区の前代表と代表を紹介してもらい、その縁で地区広報と熊本グループリーダーの2名が懇談会に参加し、RAC同士で情報交換を行う事ができ、今後も交流を継続していこうと思います。



5. 謝辞

お盆と言う非常に忙しい時期にもかかわらず、現地でのすべての面倒を見て頂きました熊本東ロータリークラブ 会長 古賀謙二様、前会長 野上武様、前幹事 榎主税様、並びに熊本東ロータリークラブの皆様、我々に同行して下さり共に汗を流していただきました、パストガバナー 泉博朗様 (大阪帝塚山)、地区青少年活動委員会 委員長 瓦谷勝様 (大阪西南)、君岡真兵様 (大阪西南)、今回のボランティア活動を通じ、大変お世話になりました当地区各クラブ並びに多数のロータリアンに感謝と御礼を申し上げます。





RAC NEWS!



2016-2017 年度 国際ロータリー第 2660 地区ローターアクト

ローターアクト地区行事 海外研修のご報告

実施期間：2016年9月16日～20日

参加者：ローターアクト 38名、ロータリアン 7名

訪問先：モンゴル ウランバートル・テレルジ（国際ロータリー第 3450 地区）

地区ローターアクト代表
大角 慶規（大阪東 RAC）

9月16日から20日の5日間、ローターアクトの地区行事「海外研修」を行いました。訪問先のモンゴルは、国際ロータリー第3450地区に属し、当地区ローターアクトが初めて海外研修として選定した地です。現地のローターアクターも今回の私たちの訪問が初めての海外ローターアクターの受け入れだったとのことでした。

きっかけは、元当地区米山奨学生で現地の Khuree ローターアクトクラブに所属するバヤンバット・トゥメンデルゲル氏です。日本とモンゴルのつながりを作った価値のある訪問になったと思います。

Welcome Party には、現地ローターアクトクラブ 8 クラブと Khuree ロータリークラブの方にご出席いただき、100名を超える大規模なものになりました。互いのローターアクトについて英語で説明したり、様々な出し物を行ったり、会の最後には全員で手をつなぎ、We Are The World を大合唱。しっかりと日本人とモンゴル人で交流を深めることができました。



Welcome Party では、参加していた現地のローターアクトクラブ 8 クラブとバナー交換を行いました。今後も、この友情が続くことを願いひとつひとつ大事に交換を行いました。

写真は、メインで受け入れを担当してくださった Khuree ローターアクトクラブとのバナー交換の様子です。



Welcome Party の最後にみんなで手をつないで We Are The World の大合唱！全員の笑顔が光ります。

ロータリーソングの「手に手つないで」もそうですが、全員が輪になり手をつないで合唱すると今までにない一体感が生まれます。国境を越えた友情が確立された瞬間です。



会の途中に行われた日本文化のプレゼンは、東大阪ローターアクトクラブ前川の会員、大阪東ローターアクトクラブ石川徳一郎会員、関西大学ローターアクトクラブ若林拓也会員に行っていただきました。流暢な英語で日本のローターアクトについて堂々と説明してくれました。

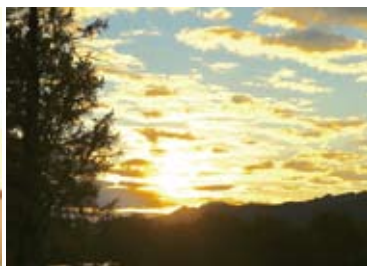


ウランバートルのゲル地区にある第40 学校では、大阪東ロータリークラブが支援し、Khuree ローターアクトクラブが活動している「図書館プロジェクト」を見学しました。またコピー機 4 台を地区ローターアクトとして寄贈しました。現地の子供たち 100 人に対しては、大阪東ロータリークラブ会長の西村様より協賛品として頂いたサクラクレパス120セットを寄贈しました。

また開発教育の一環として日本文化とお金の大切さを伝える“緑日”プログラムを実施しました。緑日では 4 つのグループに分かれて“ゲル”という仮想通貨を用いて射的・バルーンアート・お面づくり等の出店を出店しました。ゴミ拾いを行うことで仮想通貨が受け取れ、その通貨を使用すると出店で遊べる仕組みを作り、子供たちにお金の大切さや日本の遊び・習慣を伝えました。子供たちの無邪気な笑顔と、エネルギーを肌で感じ、改めて教育とは何なのかを考えるきっかけとなりました。国内外を問わず、私たちにできることが何なのか。しっかりと考えていきたいと思ひます。



受け入れを担当してくれた
Bayanbat Tumendelger氏



テレルジの夕焼け



Tumee氏と大角代表は、
2014年からの仲良し



新モンゴル学園前にて



ダンバダルジャー日本人慰霊碑



モンゴルといえば・・・
乗馬体験もしっかりと



ゲル見学も行いました



モンゴルの民族衣装に身を包む
2660美女3人衆



その他、日本人慰霊碑の見学や新モンゴル学園見学、ゲル宿泊など参加者全員にとってとても有意義で貴重な研修にすることができました。普段行うことができない体験をし、また、それを各クラブ会員へ伝えていくことで地区として大きく成長できることと思ひます。

ロータリーファミリーの一員として人類へ奉仕できる人材となるよう、今後も活動をしていきたいと思ひます。ご協力いただきました皆様へ、この場をお借りして深く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。



鬼怒川水害 義援金のお礼と報告

国際ロータリー 第2660地区 ガバナー

松本進也

(大阪北RC)

2015-16年度 災害支援委員会 委員長

泉 博朗

(大阪帝塚山RC)

昨年発生した鬼怒川水害に対しましては、地区内各クラブの皆様にご義援金などのご支援をいただき、ありがとうございました。当地区では各クラブからお寄せいただいた義援金をとりまとめ、現地のRI第2820地区へ送金させていただきました。

この度、第2820地区の倉沢修市・直前ガバナーより義援金の報告書が届きました。下記の通り、抜粋してご紹介します。

なお倉沢直前ガバナーからは「この災害に対しまして、皆様から多大なるご支援、ご協力を賜りましたことに対し、衷心より御礼申し上げます」とのお礼の言葉をいただいております。

鬼怒川水害 義援金 決算書より (抜粋)

平成27年		金額 (円)
9月 18日	第2660地区	2,000,000円
10月 27日	//	2,058,763円
11月 11日	//	148,000円
11月 13日	//	20,000円
	小 計	4,226,763円
356件	合 計	47,451,640円

主な支援先

常総市	29,247,428円
茨城県	10,000,000円
水海道RC	6,600,000円
下妻RC	600,000円

茨城南
IBARAKI
info@mainichi.co.jp

国際RCが市に義援金

2000万円、図書館蔵書購入へ



義援金の目録を高杉徹市長（右）に手渡す倉沢修市・国際ロータリー第2820地区ガバナー（左）常総市水海道防町の市役所で

県内のロータリークラブ（RC）会員が集まる「国際ロータリー第2820地区」の倉沢修市ガバナー（代表）は10日、常総市役所

を助け、高杉徹市長らに義援金2000万円を贈った。市立図書館（高山京子館長、同市水海道天満町）で被災した蔵書3万冊分の購入費用に充てることを希望している。

高山館長は「年間予算の倍の金額で、大変ありがたい。蔵書の管理システムが復旧しておらず、購入にはしばらく「かかりそう」と話した。

全国から寄せられた義援金は10日現在、約3410万円に上り、ほかに県（1000万円）▽水海道RC（350万円）▽下妻RC（20万円）▽境、下館、しもたて紫水、筑西きぬRC（各10万円）を贈る。

【庭木茂樹】

つくば支局
〒305-0051
つくば市二の宮
1の22の17



Rotary
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2016年11月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
今月号の担当 Zone 3 RPIC

■ ロータリーの公共イメージ向上活動と実践方法

コーディネーターNEWS10月号で第一ゾーンRPIC渡辺敏彦様が各地区ガバナーや地区とクラブの担当委員長が公共イメージ向上活動に取り組むべき方針とその活動分野について詳しく述べられました。各クラブや地区が取り組んでいる各分野の意義あるロータリー活動を対外的に適切に広報し、ロータリーのブランド価値を高めて行くことが現代社会では求められております。しかしながら陰徳を尊ぶ日本ロータリアンの公共イメージ向上への積極的な意識と対応はまだ低いと言わざるを得ません。ロータリーのブランド価値を各クラブや地区が高める努力を続けることによって、最終的には各クラブの会員基盤の強化とロータリーの発展に繋がることを理解しましょう。

■ 今月号ではTRF100周年記念プロジェクトの一環として実施された2件の写真をご紹介します。

その1件は広島東RCが実施されました広島市内の路面電車に搭載されました「END POLIO NOW」の動く広告です。本プロジェクトは広島市民はもとより、国内や海外各国から広島を訪れている観光客が大幅に増えている中でロータリーのイメージ向上に大きな力になりました。広告電車運航開始日の模様が中国地方の有力紙である中国新聞に写真入りで紹介されました。

もう1件の写真は大阪中之島RCがベトナムのダナンの市民病院へ派遣しているVTT医療チーム派遣プロジェクトです。本件は友10月号でも紹介されましたが、日本の最先端のハイテク医療技術がベトナムのダナン病院へ伝授されることになり、現地の医療関係者や受益者から高く評価されております。ベトナムにはロータリークラブがまだ存在しておりませんが、この様なロータリーの意義あるプロジェクトが地元で広く報道されておりますので近い将来ロータリークラブの誕生に繋がることを期待されております。

■ クラブ数 会員数

Zone 1	830	28,648
Zone 2	651	28,100
Zone 3	793	32,856
合計	2,274	89,604

(2016年10月6日現在のClub Centralのデータです)

■ BOX登録件数

Zone 1	53件
Zone 2	27件
Zone 3	79件

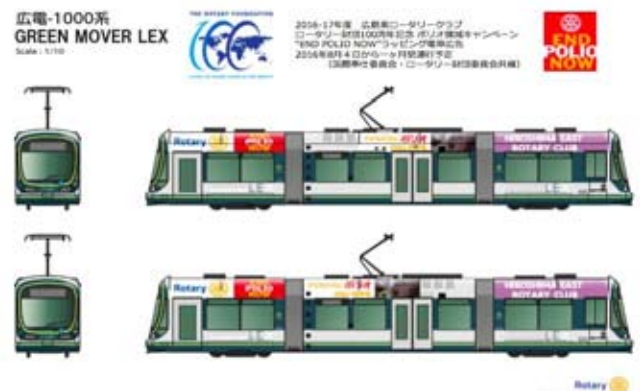
8月19日現在 合計 159件

■ 各クラブや地区では国内や海外に於いて数多くの素晴らしい奉仕活動を展開頂いておりますが、そのことを広く一般社会へお伝えする努力がなかなか伴っていないことが、日本のロータリーの課題の一つです。ロータリーについて最もよく知り、私達の活動を最もよく伝えることができるのはロータリアン一人一人です。皆様のご理解ご尽力を宜しくお願い申し上げます。

(Zone 3 RPIC 横山守雄)



ベトナムのダナンの市民病院へ派遣しているVTT医療チーム派遣プロジェクトです。



このイラストは広島市内の路面電車に搭載された「END POLIO NOW」の動く広告です。



地区大会のご案内

地区大会 大会委員長

鴻池 一季

(大阪北RC)



10月号に引き続き地区大会のご案内をいたします。今回の地区大会では、国際ロータリーのテーマ「人類に奉仕するロータリー」と松本進也ガバナーの方針「The Ideal of service」に基づき有意義で感動的な地区大会になるべくプログラムを作成いたしました。

まず、1日目(12月9日)の開会式では、オープニングに祝能「翁」をご覧ください。出演は大阪北ロータリークラブ会員の大槻文蔵さんで今般、人間国宝に認定されました。開会式の後は次の3部門で分科会を開催します。まず、会長幹事・一般部門分科会では「嫌われる勇氣」の著書で有名なアドラー心理学の岸見一郎さんに『『嫌われる勇氣』そして『幸せになる勇氣』』をご講演いただきます。講演の後、質疑の時間を充分取っていただける予定です。

次にロータリー財団・一般部門分科会では財団100周年を記念してユニセフニューヨーク本部上席アドバイザーの山口郁子さんにポリオ撲滅活動についてご講演頂いた後、地区役員とシンポジウムを行います。三つめの会員・家族分科会では東日本大震災で被災した浪江町出身で、現在当地区と被災地のロータリーの支援によりオーストリア国立音楽大学ピアノ科に留学中の吉田昂城君のピアノコンサートと留学支援に尽力された高槻西RCの近藤真道会員の講演を行います。ポリオ撲滅活動については友愛

の広場でパネル展示に加えバーチャルリアルティによるプレゼンテーションを実施しますので是非ご覧ください。

国際ロータリー会長代理には台北北RCの張吉雄PGが指名されました。歓迎晩餐会は18時からリーガロイヤルホテル光琳の間で開宴します。開宴までは呈茶・ワイン・コーヒー等のドリンクをご賞味ください。食事の後は香川県産の石サヌカイトを楽器として小松玲子さんが演奏するサヌカイトコンサートをお楽しみいただきます。

大会2日目(12月10日)はオープニングに片岡りささんの箏と小林鈴純さんの尺八の歓迎演奏を行います。本会議の諸行事の後はテレビのコメンテーターでおなじみの毎日新聞社特別編集委員岸井成格さんによる基調講演「日露首脳会談と政局の行方」を行います。北方領土返還の機運が高まる中、12月15日にはプーチン大統領が来日し、山口で安倍首相と会談という又とないタイミングと思われる。

昨年末より実行委員会では精力的に準備を進めてまいりました。プログラムについてはほぼ纏まり詳細調整の段階です。今回の地区大会が有意義で印象的なものとなりますようにホストクラブの大阪北クラブ丸となってお世話をさせていただきますので宜しくお願い致します。

2016-2017年度 国際ロータリー 第2660地区



地区大会

第1日

2016年12月9日 [金]

場所 / 大阪国際会議場

13:30~	祝能	5階メインホール
14:00~	開会式	5階メインホール
15:20~	分科会/家族の集い	10階会議室

第2日

2016年12月10日 [土]

場所 / 大阪国際会議場

13:00~	歓迎演奏	5階メインホール
13:30~	本会議	5階メインホール
15:50(予定)	特別基調講演	5階メインホール

RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

場所 / リーガロイヤルホテル

18:00~	開宴	光琳の間
--------	----	------



米山記念館便り 出生、幼年期

シリーズ③ 米山梅吉の横顔

米山梅吉は、在米8年、皿洗いや学僕で学資を稼ぎ、加州のベルモント・アカデミー、オハイオのウェスレアン大学、さらにニューヨークのシラキュース大学に転じました。ウェスレアン大学からマスター・オブ・アーツ称号を得ています。

明治28年に帰朝、文藻に秀で国の将来も見据えていた若者らしく、職業は新聞記者を希望しましたが、米山は結婚し、翌年長女愛子を得ていましたので生活を考え、日本鉄道会社に就職。ここは技術畑が強かったために、畏友藤田四郎に相談。藤田の岳父は井上馨候という財界の雄、井上の口添えで明治30年10月29歳の時、三井銀行に入行しました。



三井銀行本店営業部勤務から大阪支店長代理時代(明治33年頃・33歳頃)

米山梅吉記念館のホームページを新しくします。

2019年には記念館創立50周年を迎えますので、その記念事業の一環としてリニューアルし、米山梅吉に関する年表や人物像などの記述を充実させる予定です。ご期待ください。

公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
URL <http://yoneyama-umekichi.jp>
Email: yumh@ai.tnc.ne.jp

[開館時間] 午前10時～午後4時
[休館日] 月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)



米山梅吉関連図書の紹介



A5判 上製本ケース付
本文590ページ/4,000円

米山梅吉伝

出生から晩年まで、さらに三井銀行、青山学院、三井報恩会、ロータリー関係者、生前の米山と親交があった人達の証言を交えて、様々な角度から米山の人となりをかき上げさせています。「梅吉を知るにはまずこの本から」の1冊です。和歌や俳句、漢詩など、趣味の人米山の一面を知る事もできます。



「ロータリーの友」誌 11月号推奨記事のご紹介

ロータリーの友 地区委員 **一瓢 秀次**
(大阪北RC)

【横組書記事より】

- P.3 RI会長メッセージ「アーチC.クラフの革新」
- P.12 日本のポリオ 発症から撲滅へ、そして今後の課題
- P.20 ロータリー財団100周年を祝う
アメリカからのVTT来訪 千里RC VTT委員長 萬年成泰
- P.24-25 “よねやま”から広がる新しい世界 出逢いは感動の始まり 大阪東RC 井上雅晴
- P.26-27 熊本地震 心は共に
 - ・太鼓の音色を届ける (豊中南RC)
 - ・心のケアが大切 (東大阪中央RC)
 - ・大阪と熊本のクラブが協同で被災地ボランティア活動 (熊本東RC・第2660地区)
- P.30 「ロータリーの友の」ウェブサイトをご活用下さい

【縦組書記事より】

- P.4 オープン・マインドを現代に活かす 小泉八雲から考える
 - ・小泉八雲(1850-1904)の玄孫が松江にいて、小泉八雲記念館館長として活躍されている
 - ・古事記が1882年、英国人によって英訳されている
 - ・八雲は、その英訳を読んで、日本に行くことを決意する
 - ・東大と早稲田で教鞭をとっていた八雲は、日本の教育について危惧している3つの点を講演中に以下のように語った
「記憶力偏重で、もっと想像力を育まなければいけない」
「日本の親は学校の先生に甘え過ぎ」
「極端な詰め込み式の勉強をさせすぎる学校や家庭があるのが気になる」
 - ・戦前の教科書に出てくる八雲の作品の「稲むらの火」は、1854年の安政南海地震の以下のエピソードがもと
「紀伊国の庄屋が津波を予知して、機転を利かせて、刈入れたばかりの稲の束に火を放って、危険を知らせ、住民を高台に非難させた」
- P.13 ホーム例会1000回皆勤達成に寄せて
- P.19 消化器疾患でない腹痛症について
- P.20-21 ロータリー柳壇 大阪北RC 三宅 侃、大阪西RC 鴨谷瑠美子、大阪東淀ちややまちRC 小坂克彦
- P.25 薬物乱用防止キャンペーン 高槻RC

貴クラブの活動のヒントに成ると思います。ぜひご覧ください。
また、貴クラブの活動の様子を「ロータリーの友」へご投稿お願いいたします。
今年度1年間毎月発信してまいります。よろしくお願いいたします。



米山奨学委員会 / ローターリー財団

■地区米山奨学委員会より

2016年 8月末 全国寄付金合計額	305,636,189円	(前年度比1,070万円減)
第2660地区寄付金合計額	16,765,500円	(前年度比18.9%増)
全国寄付合計トップ10		
1. 第2770地区	21,607,500円	6. 第2590地区 14,129,500円
2. 第2750地区	20,151,881円	7. 第2580地区 13,944,550円
3. 第2650地区	19,439,660円	8. 第2710地区 11,790,950円
4. 第2660地区	16,765,500円	9. 第2610地区 11,578,250円
5. 第2760地区	14,487,000円	10. 第2700地区 11,347,750円

■米山功労者 次の方たちに米山功労者の称号が贈られました(2016年8月)。

氏名	回数	クラブ名
片岡 重裕	1回目	新大阪 R C
生尾 雅美	2回目	新大阪 R C
村上 泰啓	2回目	大阪城南 R C
高林 辰行	10回目	大阪西北 R C
平林 武昭	5回目	大阪西北 R C
片山 勉	10回目	大阪東 R C
藤田 弘道	2回目	大阪東 R C
高田 富士夫	1回目	大阪南 R C
小松 範行	1回目	大阪南 R C
北村 美樹浩	1回目	大阪南 R C
前田 勇治	1回目	大阪南 R C
木本 利宗	1回目	大阪南 R C

氏名	回数	クラブ名
藤井 眞澄	2回目	大阪南 R C
入江 義雄	2回目	大阪南 R C
荒木 貴史	2回目	大阪南 R C
青山 総一郎	2回目	大阪南 R C
米谷 龍二	2回目	大阪南 R C
岩田 宙造	6回目	大阪南 R C
藤田 保男	1回目	大阪梅田東 R C
友藤 昭弘	4回目	大阪平野 R C
須崎 洋一	9回目	東大阪東 R C
矢口 正登	1回目	豊中 R C
藤原 安雄	4回目	豊中千里 R C

■米山功労クラブ 次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました(2016年8月)。

クラブ名	回数
大阪城南 R C	44回目
大阪東 R C	91回目
大阪南 R C	93回目



■ポール・ハリス・フェロー 次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました(2016年8月)。

氏名	クラブ名
藤田 保男	大阪梅田東RC
浦野 修明	大阪西北RC
井戸本泰次	大阪中之島RC
栗山 大作	大阪東RC
深江 慎介	大阪フレンドRC
橋本栄次郎	大阪フレンドRC
小西 亮介	大阪フレンドRC
関 洋輔	大阪フレンドRC
鈴木 友晴	大阪フレンドRC

氏名	クラブ名
前田 勇治	大阪南RC
中尾 量保	大阪南RC
小椋 隆史	大阪南RC
小松 範行	大阪南RC
西村 孝	大阪南RC
高田富士夫	大阪南RC
阪口 太	大阪リバーサイドRC
松本 正	新大阪RC
横山洋一郎	新大阪RC

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです(2016年8月)。

氏名	回数	クラブ名
簡 仁一	6回目	茨木RC
塩野 秀作	5回目	大阪RC
近藤 治郎	5回目	大阪西北RC
柳川 重昌	1回目	大阪東RC
今村 聖三	1回目	大阪フレンドRC
吉内 忠春	1回目	大阪フレンドRC
佐藤 直博	2回目	大阪フレンドRC
山本 富造	2回目	大阪フレンドRC
藤井 眞澄	1回目	大阪南RC
暮松 毅	1回目	大阪南RC
松林 寛	1回目	大阪南RC
中島 成和	1回目	大阪南RC
松 順造	2回目	大阪南RC
友澤 美明	2回目	大阪南RC
米田 幹郎	2回目	大阪南RC
奥村 安正	3回目	大阪南RC

氏名	回数	クラブ名
上田 豊	3回目	大阪南RC
山本 博史	3回目	大阪南RC
伊藤 定夫	2回目	大阪リバーサイドRC
石田由美子	3回目	大阪リバーサイドRC
富 道雄	4回目	大阪リバーサイドRC
森 光雄	2回目	交野RC
村角 末義	1回目	新大阪RC
山村 安德	1回目	東大阪東RC
藤本 良男	2回目	東大阪東RC
北川 忠嗣	3回目	東大阪東RC
広田 甫	5回目	東大阪東RC
川口 淳三	5回目	東大阪東RC
井上 家昌	6回目	東大阪東RC
須崎 洋一	7回目	東大阪東RC
森本 光	2回目	箕面千里中央RC

■ベネファクター 次の方たちにベネファクターの称号が贈られました(2016年8月)。

氏名	クラブ名
西村 貞一	大阪東RC
表 康之	東大阪東RC
松村 康司	八尾RC



2016年9月度 会員数・出席報告

I M 組	クラブ名	7月期 初会員 数	9月未会員数		入会 者数 累計	退会 者数 累計	増減	例 会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第1組	池田	35	34	2	0	1	-1	3	76.77	61.62
	池田くれは	32	35	3	3	0	3	3	86.06	86.05
	箕面	27	27	3	0	0	0	4	79.38	77.38
	箕面千里中央	23	23	0	0	0	0	5	97.47	96.34
	豊中	42	42	4	0	0	0	3	83.45	71.28
	豊中南	22	22	2	0	0	0	4	86.91	77.38
	豊中千里	37	36	3	0	1	-1	5	90.59	82.40
	小計	218	219	17	3	2	1		85.80	78.92
	I M 第2組	茨木	28	29	2	1	0	1	4	94.60
茨木東		41	41	5	0	0	0	4	75.29	65.35
茨木西		25	25	6	0	0	0	4	84.00	71.74
千里		31	31	0	0	0	0	3	88.83	77.47
千里メイプル		23	23	4	1	1	0	4	79.76	75.00
摂津		31	33	1	2	0	2	4	95.52	86.36
吹田		62	64	11	2	0	2	3	97.74	95.42
吹田江坂		32	33	2	1	0	1	4	97.44	86.25
吹田西		49	49	2	1	1	0	3	100.00	93.29
高槻		49	51	6	3	1	2	3	93.55	89.37
高槻東		36	36	2	0	0	0	4	97.64	93.60
高槻西		21	21	0	0	0	0	4	89.29	76.19
小計	428	436	41	11	3	8		91.14	83.00	
I M 第3組	大東	39	39	0	0	0	0	3	100.00	91.91
	大東中央	28	28	13	0	0	0	3	85.33	71.59
	枚方	50	50	2	1	1	0	4	92.39	81.52
	門真	28	28	4	0	0	0	4	91.42	78.44
	交野	38	38	2	0	0	0	3	69.00	67.38
	香里園	13	13	0	0	0	0	3	100.00	87.87
	くずは	62	62	2	0	0	0	4	69.78	56.71
	守口	42	42	4	0	0	0	3	76.08	70.28
	守口イブニング	23	24	4	1	0	1	4	75.00	68.76
	寝屋川	40	40	4	0	0	0	3	89.74	81.20
	四條畷	5	5	0	0	0	0	3	100.00	100.00
小計	368	369	35	2	1	1		86.25	77.79	
I M 第4組	東大阪	77	78	0	1	0	1	4	89.54	78.77
	東大阪中央	23	24	0	1	0	1	3	91.31	86.36
	東大阪東	60	61	4	1	0	1	4	77.90	59.03
	東大阪みどり	22	22	0	0	0	0	4	70.45	62.50
	東大阪西	29	29	0	0	0	0	3	100.00	81.63
	大阪柏原	27	26	2	0	1	-1	4	92.05	88.20
	大阪ネクスト	23	24	8	1	0	1	4	63.50	63.50
	八尾	56	57	0	1	0	1	4	78.39	77.43
	八尾中央	16	16	0	0	0	0	3	81.90	77.30
	八尾東	28	29	1	1	0	1	4	83.50	74.71
小計	361	366	15	6	1	5		82.85	74.94	

I M 組	クラブ名	7月期 初会員 数	9月未会員数		入会 者数 累計	退会 者数 累計	増減	例 会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第5組	大阪中央	41	47	5	6	0	6	4	89.89	80.38
	大阪堂島	28	29	3	1	0	1	3	85.05	80.45
	大阪北	183	184	0	1	0	1	4	73.82	62.87
	大阪北梅田	65	65	6	0	0	0	3	81.36	70.96
	大阪西	88	88	0	0	0	0	3	89.22	83.13
	大阪大淀	40	44	0	4	0	4	4	83.75	76.88
	大阪リバーサイド	31	31	5	0	0	0	4	100.00	77.52
	大阪西北	46	46	0	1	1	0	3	90.48	83.81
	大阪そねざき	35	34	21	0	1	-1	4	93.35	80.90
	大阪梅田	26	29	2	4	1	3	3	96.30	80.10
大阪梅田東	37	38	0	1	0	1	4	80.27	72.37	
大阪ユニバーサルシティ	34	35	4	1	0	1	4	74.81	70.37	
小計	654	670	46	19	3	16		86.53	76.65	
I M 第6組	大阪	266	277	3	12	1	11	4	74.96	59.54
	大阪東	122	124	0	2	0	2	4	92.85	78.99
	大阪東淀ちややまち	29	28	3	0	1	-1	3	85.96	80.70
	大阪城東	37	36	6	0	1	-1	5	87.03	76.51
	大阪中之島	32	32	3	0	0	0	4	91.92	83.06
	大阪大手前	37	36	7	0	1	-1	5	87.14	77.73
	大阪城北	58	58	4	0	0	0	4	85.22	76.56
	大阪天満橋	56	59	0	3	0	3	4	88.24	80.51
	大阪鶴見	31	31	3	0	0	0	3	77.88	76.64
	大阪淀川	29	30	6	1	0	1	4	93.33	74.30
新大阪	33	34	0	1	0	1	4	86.43	77.51	
小計	730	745	35	19	4	15		86.45	76.55	
I M 第7組	大阪フレンド	26	26	3	1	1	0	3	89.74	78.21
	大阪御堂筋本町	52	51	2	0	1	-1	4	90.27	74.62
	大阪南	157	166	4	9	0	9	4	85.16	74.29
	大阪難波	58	58	0	0	0	0	4	85.74	76.66
	大阪なにわ	26	25	3	0	1	-1	4	97.77	89.96
	大阪西南	92	95	22	3	0	3	4	91.68	68.16
	大阪船場	38	40	3	2	0	2	3	92.66	78.66
	大阪心斎橋	35	35	0	2	2	0	4	90.45	79.58
	大阪うつぼ	34	34	3	0	0	0	4	87.49	76.39
	小計	518	530	40	17	5	12		90.11	77.39
I M 第8組	大阪平野	37	39	2	2	0	2	4	96.69	86.04
	大阪イブニング	13	13	2	0	0	0	4	80.77	71.15
	大阪城南	50	51	0	1	0	1	4	100.00	91.60
	大阪咲洲	18	18	1	0	0	0	4	91.66	77.77
	大阪天王寺	51	54	0	3	0	3	4	84.14	80.51
	大阪帝塚山	46	47	4	1	0	1	4	88.56	84.57
	大阪東南	35	35	0	0	0	0	3	94.29	78.43
	大阪アーバン	29	31	6	2	0	2	4	78.23	77.42
大阪みおつくし	17	17	12	0	0	0	3	71.00	69.00	
小計	296	305	27	9	0	9		87.26	79.61	

合計	クラブ名	7月期 初会員 数	全員	女性	入会 者数 累計	退会 者数 累計	増減	出席率	ホームクラブ 出席率
	81	3573	3640	256	86	19	67	87.0	78.1



文庫通信 (349号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約24,000点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報

- ◎ロータリーは今や末法時代か 塚原房樹 2016 2p (D.2510月信)
- ◎ロータリーは難しいか? 櫻木英一郎 2016 2p (D.2790月信)
- ◎慣例と変革 櫻木英一郎 2016 1p (D.2790月信)
- ◎奉仕について 片岸修次 1998 6p (ロータリーの栞)
- ◎Object of Rotaryの解説、私のロータリーに対する考え方 野田三郎 2016 2p (私の足跡)
- ◎あなたはなぜロータリークラブに入会するのか? 刀根荘兵衛 2016 4p (D.2650月信)
- ◎ロータリークラブにおける会員増強、果たして必要なのでしょうか? 久保田晋平 2016 1p (D.2700月信)
- ◎ロータリーの正義(Ⅱ) 田淵水作夫 2016 66p
- ◎ロータリーの誕生と成長の物語 — ポール・ハリスのロータリー1935年を中心にして 穴井元昭 2016 41p
- ◎ロータリーとは何か 常盤太助 1996 10p (ロータリーの心)

[以上申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館：午前10時～午後5時 休館：土・日・祝祭日



月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。

月信編集委員会

- ガバナー 松本 進也 (大阪北RC)
- 地区代表幹事 浜田 晋 (大阪北RC)
- 地区副代表幹事 田中 真人 (大阪北RC)
大野 康裕 (大阪北RC)
- 担当地区幹事 田中 実 (大阪北RC)
小原 楠緒 (大阪北RC)
- 事務局員 船橋美紗子

2016-17年度 国際ロータリー 第2660地区 ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー 松本 進也
地区代表幹事 浜田 晋
地区副代表幹事 田中 真人
大野 康裕
事務局長 栗正 久美
事務局員 井上 望美
加茂 春日
船橋 美紗子
杉本 亜鶴巳

所在地 〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階

TEL (06) 6264-2660

FAX (06) 6264-2661

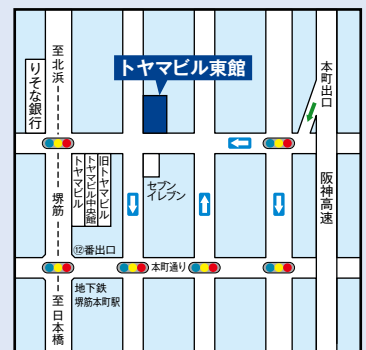
E-mail gov@ri2660.gr.jp

ホームページ <http://www.ri2660.gr.jp/>

勤務時間 9:30~18:00

休日 土曜、日曜、祝日

年末年始 2016年12月29日(木)~2017年1月4日(水)



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 ⑫番出口すぐ

ガバナー事務所にて会議室(最多36名)を併設しております。詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。



国際ロータリー 第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階

TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan

TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp